



# 農業保険実施能力向上プロジェクト ニュースレター

2023年 2月

## 農業保険政策提言ワークショップ実施

プロジェクトではこれまでの協力から得た農業保険に関する知見をまとめて作成した政策提言案について、関係者に意見を求めるワークショップを開催しました。参加者は48名、プロジェクト実施機関に加えてJICA本部からの調査団、統計局(BPS)、パイロット地域からの関係者や関連分野の民間団体も出席しました。専門家チームは、2020年から開始した収量インデックス型保険(AYII)の経験をもとに、収量調査の標準化、商品設計の改善、収量データ管理のためのタスクフォースの創設、保険加入の拡大に向けた取り組みなどについて提言案を共有しました。参加者からは、それぞれの立場から多くの質問やコメントが寄せられました。これらのコメントを反映した最終提言は、4月にAYIIパイロット担当専門家チームの業務完了報告書としてまとめる予定です。



## 坪刈り調査会議

2月1日、AYIIでは必須となる坪刈り調査に関して、今後の対象地域拡大における実施体制の整備と強化に向けての協議を行いました。坪刈り調査は、全体の収量を把握するための手法で一作物ごとに正確に実施することが重要ですが非常に労力がかかる作業です。農業保険拡大に向けてこれを担う農業普及員の負担軽減も必要とされ、この会議ではBPSと農業研修センター(Puslatan)も出席し、リモートセンシング技術を坪刈り調査の代替として活用する可能性も含め、継続可能な実施方策について話し合いました。



## 第10回合同調整委員会(JCC)

2月3日、プロジェクトの終了に向けて第10回JCCを開催しました。プロジェクト実施機関やパイロット事業実施地の農業局の代表者、JICA本部からの調査団を迎えて、合計40名が参加しました。協議では、政策提言案にかかるインドネシア側のコメント、調査団によるプロジェクト終了までのフォローアップ事項に関する提言、自己評価案を含むプロジェクト完了報告書に盛り込む内容を確認しました。関係機関から多くの質問やコメントが寄せられましたが、確認事項はすべて承認されました。

